

航空産業の礎に35年

中山取締役会長、明治大学・機械工学科で講演

■ 創業35周年を迎えるITCアエロリーシング

創業者である中山取締役会長は、伊藤忠商事を退職後、1985年に「株式会社アイ・ティー・シーアエロスペース」、1989年には「株式会社アイ・ティー・シーリーシング」を設立。以来、日本で唯一の航空機専門商社・リース会社として、ゼネラル・アビエーション※1 分野において航空機オペレーティングリース事業を開始。2016年には前記二企業が発足した「株式会社ITCアエロリーシング」にて、「社会的責任投資 (SRI)」分野での事業に注力。現在世界5か国で61機 (2024年1月末時点) のリースに供しており、「救急医療搬送」、「不可欠路線運航サービス」など公共性の高いリース事業を手掛けております。

■ 明治大学・機械工学科での講演と未来展望

中山取締役会長は、業界の発展と繁栄を願い、多くのセミナーや講演をこなしており、昨年11月17日に一般社団法人日本航空宇宙学会主催の「第61回 飛行機シンポジウム」、本年1月22日には、明治大学・機械工学科において、「ゼネラル・アビエーション市場及び次世代航空技術の未来展望」について講演会を実施、多くの反響を頂戴いたしました。

■ エアラインとは異なるゼネラル・アビエーション

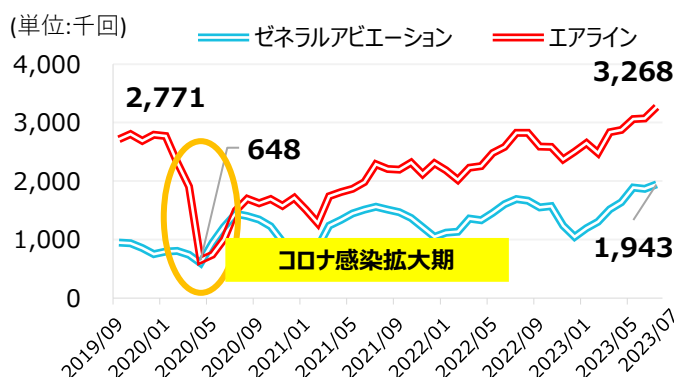
社会インフラ、社会貢献性が高い、ゼネラル・アビエーションは、エアラインに比べて、イベントリスク及び景気変動の影響を受けにくい特徴があります。この為、新型コロナ感染拡大期にエアラインの月次飛行回数が277.1万回 (2020年1月末時点) から64.8万回 (2020年4月末時点) に大きく落ち込んだのに対し、ゼネラル・アビエーションの月次飛行回数が79.5万回 (2020年1月末時点) から59.5万回 (2020年4月末時点) にしか落ちておらず、安定的な運航が継続され、安定的な成長を記録しております。

明治大学での講演の様子



中央壇上にいるのが中山取締役会長

総飛行回数 (2019年9月～2023年7月)



出所: The Aircraft Value Analysis Company Ltd. (AVAC)

中山取締役会長は、来る5月5日には若者層のリーダーシップ教育に力を入れるキャリアコンサルティング社主催の『しがくセミナー』において、1,000名の学生を前に追加講演予定です。ご関心をお持ちいただけましたら、是非ご連絡ください。

※1: ゼネラル・アビエーションとは、エアラインおよび軍事航空以外のあらゆる航空活動の総称です。